

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.20 (2017.11.27)

平成29年度スローガン
おかげさまで140周年！新たな飛躍への一步！
みんなで目指す顧客感動経営
Improve Customer Loyalty
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

10月24日品川プリンスホテルにおいて、「第9回 R+house 全国大会」が開催されました。全国から800名を超える会員企業・建築家及びスタッフが一堂に会し、各種部門の表彰式の後ハias本部の方針などが発表されました。また初期プラン申し込み件数・受注件数など優れた事業活動を認められた数社が、その取り組み方法などを発表しました。トップは8連覇を成し遂げた熊本市の株式会社ロジック、吉安社長の「何も難しい事はやっ



ていない。」「やるべき事を素直にやっただけ。」という言葉が印象的でした。愚直なまでにマニュアルに沿った事業活動をする事、それ以外に成功の道は無いことを再認識しました。



戸建住宅を取り巻く環境としては2020年には省エネ基準への対応が義務化され、一方で2025年には新築着工棟数が60万戸に縮小することが予想されています。地域密着型の住宅会社が勝ち残る為には、**最低年間24棟**の受注が必要とも言われており、R+houseのシステムやノウハウはそれを可能にするための「売れる仕組み」に他なりません。我社は創業140周年という節目の年に、戸建住宅業界の勝ち組となるべく本事業に取り組んだのです。始めたからには必ずやトップビルダーの仲間入りを果たさねばなりません。

改めてR+houseの特徴をおさらいします。特徴①デザイン、一流のアトリエ建築家が世界に1つだけの住宅をこだわりの設計で提供、更にアトリエ建築家が同行しプランニング、プレゼン、クロージングを行う。特徴②高性能UA値:0.6以下C値:0.5以下(横手市の伊藤様邸ではUA値0.36・C値0.4を達成)。特徴③施工工程の標準化による高生産性、年間18棟程度までは1人の担当者で対応することが可能。特徴④マニュアル化・ルール化された営業手法で経験の浅いメンバーでも即実践可能。特徴⑤標準化された事業展開プロセスと充実した事業立ち上げ支援、ノウハウを標準化マニュアル化し研修体制を整えることで、基本を実行できる企業であれば確実に成果が得られる。

10年後に当社は創業150周年を迎えます。現在の土木・建築・鉄道・地盤・Co・R+というそれぞれの事業が大きな花を咲かせていること、さらには新たな領域のビジネスを取り入れることで大きく飛躍している企業の姿を明確にイメージして、**既成概念にとらわれることなく進取の気性に富んだ組織**を目指し、社是である「不易流行常念必現」を実践すれば、全く新しいステージの株式会社和賀組150周年が待っているものと確信しております。

除雪安全祈願祭



11月1日に開催され今シーズンの無事故を祈願しました。

今年度から私が雄勝管内の除雪安全協議会の会長になりました。

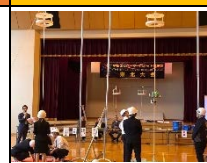
湯沢商工会議所会員大会



11月2日に開催された大会で、地域産業・

観光対策事業の推進、高速交通・産業インフラ整備の促進が採択されました。

宇宙エレベーターネット協議会



11月19日東北で初めての大会が湯沢市で開催されました。

当社もスポンサーになりました。

